

## 院長 年頭のことば

### 【2025年 スローガン】

#### 「私たちは、こころの医療を届けます。」

- ・ 島田病院は、患者さん一人ひとりの心の回復と社会復帰をめざし共に歩みます。
- ・ 島田病院は、職員全員が誇りを持てる質の高い精神科医療を実践します。

みなさま、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

去年は「**患者さんへ希望を、家族へ安心を、地域へ信頼を**」のスローガンを掲げて1年間、職員一同頑張っただけでまいりました。私としては、最後の「地域へ信頼を」については、島田病院が少しずつ能代山本地域のみなさまに認知してきていただいているように思い、この点では少し達成できつつあると思っております。一方、前の2つ、患者さんと家族への貢献の点は島田病院の精神科病院としての質と力量が問われる部分であり、まだまだ努力すべきところがあると思っております。

そこで今年一年、島田病院の精神科病院としての役割の面に力を入れてみなさまとともに新たな目標を掲げて努めていきたいと思っております。

2025年のスローガンを考え、浅野千恵子看護部長のご意見を伺いながら作ってみました。それが冒頭に掲げたものです。

その中で、「こころの医療」という言葉は分かりにくいと思っております。その点を少し詳しく述べたものが下段の2点になります。最初の文では、「心の回復と社会復帰をめざし」とし、精神科病院としての患者さんに対する役割を明確にしてみました。当院を受診される患者さんは、どの方もみな孤立し、家庭や職場、施設で不適應を来し、辛い心の状態にあります。そこに私たちは医療的に介入し、患者さんの社会生活を回復するのだということです。

2つ目の文は、私たち自身の目標として「誇りを持てる」「質の高い精神科医療」を実

現することを明確にしました。「誇りを持つ」とは、島田病院に勤めて良かった、患者さんや家族に感謝されて良かった、との健全な自負心が持てるようにありたいとの願いです。また、精神科医療は大都市では豊富なマンパワーと充実した施設で我が国のスタンダードというべきものが実践されている訳ですが、私たちの居る地方都市でもそれなりにそうした良い面を積極的に取り入れて、限られた人的物的資源の中で少しでもスタンダードに近づけるよう努力して行きたいという志を示しました。

以上のようなスローガンを掲げ、今年一年、またみなさまと一緒に島田病院を活気づけていきましょう。何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年1月6日

医療法人弘仁会 島田病院  
院長 郡 司 啓 文